

ICT活用プロジェクト夏期講座報告 講座H

学校に必要な JIS 絵記号の製作と活用

講師：榎場政晴先生

午前は、PIC シンボル・JIS 絵記号についての説明の後、参加者が、自分の使いたいシンボルを選んで、実際に作成し、榎場先生の実践を基に話し合いました。その中で、シンボルが何故白黒なのか？ どうして人物に男女差のないこけし様なのか？ 意味素とは何なのかなど…について、詳しく説明していただきました。特にシンボルを用いることで、自分の思いが相手に伝わる喜びを子どもたちに味あわせたいとの先生の思いが、よく伝わってきました。

午後は、PIC シンボルを日本に紹介された藤沢和子先生も参加され、コミュニケーションブックの製作を中心に大いに盛り上がりました。榎場先生の「先生方は、本当に人の話を聞きませんね。」のお言葉にみな爆笑……。「あれ、反対向きやった。」「え？ こう違うのん？」「しもた。まちごうた。」「そやからゆうたでしょう。(^ 0 ^ *) ……笑いの中楽しく進みました。

講師の先生は、製作後、みんなで知恵を出して新しいシンボルの作成を意図されたようですが、参加者は、一部の先生を除いて、まだあまり使ったことがなく（多分ですが）、膨大な資料を前にして、まず、シンボルをどう活用するかという話になったのは、自然の流れだったのかもしれない。ともあれ、何でもかんでもシンボルで……というのではなく、こんな子どもたちのこんな場面で有効だという検証は、各自が持ち帰って試すことで明らかになってくると思います。それでも、コミュニケーション支援のひとつの有効な手立てであり、かつ、教材作りの利便性からも今後ますます広がる可能性が大きいことは、間違いないでしょう。

【文責 府養研研究部 高田真人】

